

「あおじょも」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
AOJOMO	読み方はあおじょもです。AOJOMOは青森と縄文を表しています。「縄文が青森から忘れられないように」「これからもずっと共生していけるように」という思いが込められています。
AOJOMO	「青森」と「縄文」を合わせました。駅という多くの人が利用する場所だから、外国からのお客様などどなたからも呼んでいただきやすいようにローマ字表記にしました。Oの字をリンゴの形にするなど、ロゴデザインでも工夫が出来そうです。
AOJOMO	親しみやすく覚えやすい、国内外のお客様にも覚えてもらいやすい名前です。
AOJOMO	青森+縄文=アオジョモ！シンプルで呼びやすく、名前を見ただけでなんの施設かわかります。海外の方にもわかりやすい英語表記にしました。世界中の人に縄文文化の魅力を青森の地から発信出来ればと願いを込めました。
AOJOMO (読み方：あおじょも)	全ての青森県の縄文遺跡群の隅々まで関心を持ってもらえるようにしたい。AOJOMOは汎用的な活用が期待できそうな響きだから。(例：AOJOMO MAP、AOJOMO検定、AOJOMO博士)
Ao-Jomo center (アオジョモ センター)	青森から縄文文化についての情報を発信し、世界との交流の拠点になるようにという思いを込めました。
AO-JOMO MIRU-SIRU	青森+縄文を見て知って欲しいという意味を込めました。
AO-JOMO SPACE	青森の"AO"と逢おうの"AO"、縄文の"JOMO"、場所"SPACE"を語呂よく掛けあわせてみました。
AOJOMO 8 (読み方は「アオジョモエイト」)	世界文化遺産に登録された県内8遺跡を簡潔に表現する呼び方にする。内容としては「青森縄文8遺跡」だが、できるだけ簡潔に表現し覚えやすくするため短縮形にする。実際の使われ方としては「アオジョモ」でも良いのではないか。
AOJOMO-恵みの森広場-	青い空・青い海・さまざまな恵みをもたらす森は、縄文の時も今の青森県にとっても大切に魅力的なものだと感じています。読み方はアオジョモです。内装も森を連想させるようなデザインであったため良いと思います。
AO-JOMO-INFO	青森の縄文遺跡群の情報発信拠点ということで、日本の方にも、外国の方にも伝わるような愛称がいいなと思ってつけました。
The あおじょも	青森と縄文をくっつけてみました。
あおJOMO	青森の縄文施設という事で、誰でも呼びやすく覚えて貰えそうな名前にしました。

あおJOMO	短くて覚えやすい、海外の人にも頭に残りやすく、親しみがある、可愛らしさがあり子どもでもわかる。
あおJOMOパーク	青森県にある縄文遺跡について触れることができると同時に、パークという名称には、いろんな展示物や体験コーナーなど多様に楽しめるという意味を込めた
あおじよも	「青森」＋「縄文」を合わせた造語。短く、わかりやすい愛称で青森の縄文文化を感じてもらえる定番スポットになるようにとの思いを込めています。
あおじよも	あおもり、あおもりえきはっしんの縄文からつけました。こどもでもわかりやすくひらがなにしました。
あおじよも	青森県内、県外の人にも縄文の歴史を知ってもらいたい。堅い感じではなく、気軽に
あおジョモ	青森と縄文を掛け合わせてあおジョモという名前にしました。縄文の文化に会おうという意味もこめられています。
あおじよも	青森の縄文遺跡群、ということなので、「あお」もりの「じょうもん」遺跡群を略称したかたちです。青森の誇るべき資産を、日本中に、世界中に知っていただけるような施設になることを願っています。
あおじよも	青森縄文から取って、可愛げのある愛称がいいなと思いこうなりました
あおじよも	わかりやすくということで青森と縄文をくっつけて考えてみました。
あおじよも∞（エイト）	「青森の縄文遺跡」を呼びやすいように「あおじよも」と略し、「8（エイト）」を入れることで青森県内の縄文遺跡が8カ所あることを自然に覚えることができるようにしている。また「8」を横にし「∞（無限）」の様に表記にすることで、過去から繋がる未来への無限の可能性を表している。
あおじよもJomo 8 2021 World Heritage	青森の縄文遺跡群の8つの資産に親しみを込めて「あおじよもJomo 8」と付けました。「Jomo 8」は「ジョーモンエイト」と読みます。「8」と「2021...」の間で改行し2行で表示しようと考えました。
あおじよもパーク	青森と縄文、たくさん遺跡があるので講演に見立てアピール。
アオジョモランド	子供達にとって楽しい遊び場が少ないように感じています。その中で、様々なことを体感、体験しながら縄文遺跡について学べる場所であってほしい、子供も大人も皆が楽しめる施設であってほしいという思いを込めました。
あおじよもりん	青森と縄文を掛け合わせた名前が良いと思ったのと、わかりやすく覚えやすく、響きが良い名前が良いと思ったのでこの愛称にしました。

あおじょもりん	「青」「森」の縄文（「じょ」う「も」「ん」）の「森」で、特産品の「りん」ごも想起させる名前にしてみました。
アオじょもレキシパーク	まずアオじょもで青森と縄文を再現。レキシパークは、歴史が楽しいことを伝えるため、パーク (park) を用いました。沢山の人に縄文に興味を持ってもらえるように子供でも分かるような名前にしました。カタカナとひらがなを交互に使う、単語が合体しないようにもしました。
アオジョモン	青森の青と縄文を合わせた呼びやすい愛称にしました。
あおじょもん	青森縄文から取りました、可愛げのある相性がいいなと思いこうなりました
スペース★アオジョモ	他の施設とは違った、宇宙のような異空間で縄文遺跡について学んで遊べる場所になってほしい思いです。
世界遺産に触れよう あおじょもsta.	sta.でステーションと読ませます。青森の世界遺産をアピールできる場所が駅にできるということで青森の【あお】と縄文の【じょも】をつなげ、ステーションには、場所と駅の両方を掛けています。外国人の方にも親しみやすい愛称にしました。
青JOMO（じょも）スペース ムスビ	三内丸山の施設の飲食店で食べたおにぎりがおいしかったので。また、縄文のなわの字からも結ぶという字を連想。縄文の時代と今を結ぶという意味も込めました。
縄文の郷 あお・JOMO	縄文の郷が感じられる施設と青森の木をふんだんに使ったぬくもりを感じる事ができるイメージを名前にしました
縄文遺跡の館 あおJOMO（Oはリンゴマーク）	何の施設かを伝える為に、最初に縄文遺跡の館とつけました。青森県といえばリンゴなので、ローマ字のOをリンゴマークにして青森らしさを表現しました。